

誓いの言葉

本日は私たちのためにこのような素晴らしい式典を催していただき、誠にありがとうございます。御来賓の皆さま、そして、これまで私たちを見守り支えてくださった家族、先生方、地域の皆さまに、心より感謝申し上げます。

私たちの二十年間を振り返ると、さまざまな出来事がありました。

小学校入学前には東日本大震災が起こり、幼いながらも日常が変わってしまう現実を感じました。その中で、全国から被災地に寄せられたあたたかな支援や、人々が支えあう姿を見て、人のつながりの大切さ、尊さを強く学びました。この経験は、私たちの価値観を形づくった大きなひとつだったと思います。

また、今日この会場にいる友人たちと過ごした中学時代では、台風による自然災害、そして新型コロナウイルスの流行によって、今まで通りの日常が一瞬で変わってしまうことを目の当たりにしました。当たり前だと思っていた日々、そして楽しみにしていた学校行事や、努力を積み上げていた部活動など、私たちの学校生活は次々と揺さぶられました。そんな中での、学校で過ごす時間、友人と笑い合う瞬間、家族との何気ない日常。今振り返ると、そのひとつひとつが、実はとても大切であたたかいものであったことに気づくことができました。

そうした出来事の中で、私たちは互いに支えあい、励ましあいながら成長してきました。思いやりをもつこと、変化に順応していくこと、そして前に向かう強さ。今日こうして二十歳という節目を迎えられたのも、支えてくださった多くの方々のおかげだと感じています。

二十歳となった私たちは、社会の一員としての責任を自覚し、それぞれの道を歩んでいく決意を新たにしております。困難に出会っても、そのたびに学び、成長し、周りへの感謝を忘れず、自らの未来を切り拓いていくことを、ここに誓います。

最後になりましたが、私たちをあたたかく支え、今日の日へと導いてくださったすべての皆さまに深く御礼申し上げます。その御恩に報いるべく、これからの人生を力強く、優しく、そして誠実に生きていくことを約束し、誓いの言葉とさせていただきます。

令和8年1月11日

塩田公民館会場

(塩田中学校区域)

代表 山下 菜緒